

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

皆様こんばんは。
すっぱい葡萄の常木です。

こう名乗ると、二つ名みたいで、ちょっと格好いいと思いませんか？

よし！
今度から、覆面投稿する時は、「すっぱい葡萄の常木」と名乗っちゃうぜ！

……………。
覆面の効果ゼロ。

さてさて。

甘ずっぱい落選記事が満載の、小説投稿ブログ「らくだ図書館」。
おかげ様をもちまして、23冊目ができました。

らくだ図書館（23）
<http://p.booklog.jp/book/79935>

今月が23ということは、来月が24なわけで、なんと2周年でございます。

最初は1日の訪問者3人とかだったんですが、今はだいたい100を超えるので、何でも続けてみるものだなあーと思います。

こうなったらむしろ、常木らくだは今後ずっと、ワナビブロガーでいいんじゃないか？ みたいな。

そんな空気もリアルに漂っておりますが、受賞して投稿ブログを卒業するのが目標なので、これからもガシガシ投稿していこうと思います。

スーパーダッシュのホームページを開いた瞬間、「第13回・選考経過」の文字が視界に飛び込んできて、本気で心臓が止まりそうになった件。

な、なんだ……。

応募総数の発表か……。

イスから転げ落ちそうになっちゃったよ……。

そんなわけで、S Dの応募総数、今年は767本だったみたいです。

それから1次発表については、1月15日（水）という記載が。

まだ結構先ですが、日付がわかるのは、心の準備をする上でありがたいです。

そして、大幅リニューアル、ついに来ましたねー。

<告知ページ>

<http://dash.shueisha.co.jp/feature/awardteaser/>

「第1回集英社ライトノベル新人賞」

- ・賞金の大幅アップ
- ・ウェブ投稿可能
- ・年2回締切り（4月25日と10月25日?）

続報は13日（金）発表ですが、非常に気になるところです。

それにしても、春は電撃とラノ文に参加しようと思ってたけど、4月にスーパーダッシュの前期ができるなら、そっちにも参加したいな……。

最近1本をゆっくり書くようになったので、どれだけ投稿できるかわかりませんが、とりあえず送る方向で頑張ってみます！

落ちたショックで書き忘れましたが、今さらガガガの1次データなどを。

応募総数 1236本
1次通過 101本
通過倍率 約8%

ガガガって元から難関なイメージあるけれど、1次が8%って、去年よりもさらに一層減らしたんじゃないか……。

しかしそんな中でも、通る作品は確実に通っているので、落選を倍率のせいにしちゃいけませんね。

悪かった部分をしっかり見直して、自分の作品を磨こうと思います。

そして、そして。

11月末が締め切りだった、OVLの総数が出ています。

なんと！

今回は434作品！

選評がとっても好評らしいので、もっと増えるかなーと思っていたんですが、それでも3期制なことを考えれば十分に多いですね。

今回自分は参加できませんでしたが、選評が本当に好評みたいなので、2月には参加しようかなと思います。

それから、初代受賞者の方々の作品が、ついに今月下旬に発売という流れ！

すでに表紙画像も掲載されていて、アマゾンの予約も始まっているので、今から楽しみに待とうと思います。

郵便料金の改定 - 2013.12.04 Wed

すでにご承知の方も多いと思いますが、来年の4月1日（火）から、郵便料金が値上がりする見通しです。

詳細は郵便局のHPに記載がありますが、せっかくなので転記しておこうと思います。

【定型外郵便】

～50g	120円	⇒	120円
～100g	140円	⇒	140円
～150g	200円	⇒	205円
～250g	240円	⇒	250円
～500g	390円	⇒	400円

【レターパック】

レターパックライト	350円	⇒	360円
レターパックプラス	500円	⇒	510円

投稿者に関係があるのは、このあたりでしょうか。

3月末から4月頭にかけて、投稿作をポストに投函される方は、充分にお気をつけくださいませー！

新額の切手やレターパックは、3月に発売されるようです。

- ・切手 3月3日（月）
- ・レターパック 3月24日（月）

せっかくの投稿作品が、額面不足で戻ってきたら、あまりにも悲しすぎますもんね。

料金不足にならないように、そして手持ちのレタパをなるべく使いきるように、自分も気をつけようと思います。

【自分の電撃投稿歴】

2009年 1次通過
2010年 1次通過（2本）
2011年 1次通過（2本）
2012年 2次通過
2013年 1次で全滅して目が覚める。オレの戦いはここからだ！
2014年 料金不足で未着

という流れにならないよう、郵便料金の値上がりには、皆さま充分に気をつけましょう。

レターパックも上がりますよ！

しつこく繰り返しますが、10円値上がりするのは、4月1日（火）からです！

しかし上に書いた流れ（↑）、ネタとしては、オイシイと思いませんか？

惹かれるわー。

こういうネタ、大好きだわー。

いや。

そんなん大好きだから、ドMと呼ばれるんですが。

とにかく、3月末にポスト投函すると危ない（3月中に回収されない）かもしれないので、窓口へ持ち込むのが無難かもしれませんね。

ここで何度も注意喚起しておいて、自分がその失敗をしたら笑い者なので、真面目に気をつけようと思います。

というわけで今回は、自虐ネタからの、値上がり再注意でした。

できることなら、3月中に送ってしまえるよう、今から執筆を頑張ろうと思います。

日本語検定の結果は、1級の合格基準に届かず、準1級の認定でした。

いや……。

嬉しいけど、中途半端……。

もしバツサリ不合格だったら、電話による合否確認サービスを利用して、係のお姉さんに落選宣告されるドMプレイを楽しもうと思っ（以下省略）

そうそう。

落選宣告といえば。

久しぶりにルルル文庫のブログを見たら、「恋愛要素の入っていない投稿作は問題外ですよ」みたいな記事があって、投稿中の自分の作品は落選確定っていう。

うん……。

ラブくない話を送ってゴメン……。

他にもそういう作品があったのかもしれませんが、まるで自分の作品を説教されているようで、ひたすらシューンとなりました（涙）

何かこう、GAさんのツイッターもそうですが、正式な結果が出る前に落選確定って、ものすごい半殺し状態ですよ。

HPが残り1になって、次のターンにどんな攻撃が来ても、死亡確定みたいな。

そんな時に限って、直前でセーブしてなくて、所持金が半分になるみたいな。

そんな寂しい流れですが、日本語検定はとりあえず、次回も受けようと思います。

そして執筆中の作品も、えらく時間がかかっていますが、引き続き踏ん張ります。

とりあえずの目標は、年内に初稿完成だー！

ルルルの落選予想記事を書いた直後に、実際の結果が出て落選するこの流れ、ネタとしては上出来だと思います。

というわけで、ルルルの結果は、1次落選でございました。

ええ。

別にいいんざます。

「ガガガ ⇒ ルルル ⇒ 小学館文庫」という、落選スリーコンボを喰らうことが、今回の投稿の真の目的でしたので。

まあ、あえて反省点を挙げるならば、小学館文庫は発表が4月らしいので、コンボにならなかったことが誤算ですが。

いや。

しかしですね。

近ごろ作品が通過するよりも、落選記事を書いて笑いを取る方が、リアルに楽しいような気がしてきました。

落選後にアクセスが増えたら、全力でガッツポーズ！ みたいな。

こんな自分は、どうしたらいいんですか？

作家を目指すよりも、芸人を目指した方がいいんですか？

まあそんな冗談はさておき、今回の反省点をいかしつつ、次回は通過できる作品を送りたいです。

オレの戦いは始まったばかりだ！

- 1年目 これって運命だよな！（熱愛期）
↓
2年目 なんか想像と違うかも？（倦怠期）
↓
3年目 出会ったのが間違いなんだ（絶望期）
↓
4年目 でもやっぱり……好きッ☆（復活期）
↓
5年目 もう何も怖くない（悟りの境地）

という流れで、投稿5年目の常木らくだです、こんばんは！

いや。

別にいいじゃん。

「3年で受賞しなかったら見込みないよ」なんて、真顔でおっしゃる方も存在するようですが、その言葉には投稿をやめさせる強制力なんてないですよ。

敵は誰か。

それは発言者ではなく、その言葉を信じ込んで、諦めそうになる自分の心。

いつか受賞できることを本当に信じていれば、何年かかっても怖くないし、恥ずかしい気持ちなんて湧くはずもない。

自分はそう考えているので、落ちた経験を多くの方々に知ってもらいたく、今後もバシバシ落選記事を書いていこうと思います。

【今夜の結論】

オイラ、ただのドMじゃなくて、真面目なドMなんだぜ！

えへへ！

ルルルで落ちた作品を、わたし、ロマンへ送っちゃうわ！

……………。

使い回しが後ろめたいので、せめて可愛く言ってみました。

それはそうと、今のロマンって、ウェブ投稿できるんですね。

その場合は、選評もメールのようで、紙投稿よりも便利そうです。

しかし、気になる点が二つほど。

まず原稿の枚数が、250枚ぴったりの作品なので、テキストの状態に応募した場合、下限に到達していないと判定される危険性が。

あと、ルビが多い作品なので、テキストに変換すると、やたら（）だらけになってしまうという。

そんなわけで、今回は万全を期して、紙原稿で送ろうと思います。

ルビが少なく、原稿枚数に不安がなければ、確実にウェブなんですけどね。

で、さっそく印刷したんですけど、250枚（A4）の紙原稿って、想像以上にすごいボリュームだ……………。

厚さは約3センチ。

重さを確認したら、余裕で1キロ超え。

これ、レターパックライトで大丈夫かな？

正直ちょっと不安ですが、あらすじなどの準備が整い次第、投稿を済ませようと思います！

ロマン用の原稿を準備して、レターパックに詰め込んだ瞬間、選評用の封筒を入れ忘れたことに気がつく流れ。

ぐっはあああ！

以前と同じミスをしてしまったあああ！

こういう時はそーっと慎重にフタを開けて、ヨレヨレになった部分を、ガムテープで隠したら問題ないよね（棒読み）

それにしても、二度と同じミスをしないよう、ブログに反省記事を書いたのに、また同じ失敗をやらかした自分は学習能力ゼロだと思います（汗）

さてさて。

そんなわけで、コバルトロマンへ投稿完了。

まあでも、恋愛要素が弱いので、厳しいとは思いますが。

若いパティシエが参加するケーキ・コンテストに、塩せんべいの職人が迷い込んだような、そんな違和感を正直自分でも覚えています。

しかし、えんためガールズでは通ったので、ロマンでも通過できるといいなあーと。

「ダメ元」と言ったら言葉が違うかもしれませんが、送らなければ評価される可能性はゼロですもんね。

あと冬の投稿は、今送っている作品の結果が出たら、2月のオーバーラップ第3期に参加の予定。

通過発表については、1月にSD、HJ、野性時代があるので、ドキドキしながら待とうと思います。

こんばんは、あなたの常木らくだです。

語彙・読解力検定1級は、ぶっちぎりの不合格でした。

落ちてしまった記念に、結果を書いておきます。

満点 600点

合格基準 420点 (70%)

自分の点 281点 (47%)

「惜しくも不合格」と言いたいけれど、あと140点必要だったとか、もう全然惜しくないっていうね……

orz

うん。

勉強せずに受けちゃうと、こういう結果になるわけだ。

というわけで、まったく歯が立ちそうにないので、数年たってから改めて出直そうと思います (汗)

あと話は変わりますが、ロマン用の250枚の原稿は、ぎりぎりレターパックライトで発送できました。

【レターパック豆知識】

レターパックライト 350円、厚さ3センチまで、相手の郵便受けに配達

レターパックプラス 500円、封筒に入る限り厚さ制限なし、相手に手渡し

追跡ページで確認したら、もう届いた (早っ!) らしいので、ドキドキしつつ結果を待とうと思います。

今取り組んでいる作品は、2度書き直したせいもあって、普段の3倍ほど時間がかかっております。

たぶんその影響だと思うんですが、この前ついに、自分のキャラが夢に出てきました。

皆様は、いかがでしょうか？

自分の作品やそのキャラが、夢に出てくることってありますか？

自分の脳内で架空の人物を生み出して、しかも夢の中でその人物と会話してるとか、創作をしない普通の人達から見たら、ものすごく怪しい奴だと思われそうですが……（汗）

でもきっと、小説を書く人間なら、よくある出来事ですよ！

うん。

そうに違いないって信じてる。

あと夢ではないですが、自分の作品に感動して泣くのも、創作者にはよくある出来事ですよ？

自分は割と感動屋なので、執筆中、しょっちゅう泣いています。

「じわり」とか「ほろり」ではなく、鼻水を大量に流しながら号泣です。

自分の脳内で架空の人物を生み出して、その人物の生き様に感動して泣くとか、創作をしない普通の人達から見たら、ものすごく怪しい奴だと思われ（以下省略）

だって、仕方ないよー。

世間的には気持ち悪い奴に見えても、こっちはそれくらい真剣なんだから。

そんなわけで、今日の話は、自キャラの夢と涙でした。

皆様はいかがでしょうか？

いつ落選報告するの？

13日の金曜日でしょ！

というわけで、野性時代の結果は、1次落選でございました。

本当は昨日発売の雑誌に載っていたんですが、その事実を綺麗さっぱり忘れていて、落選記事が13日の金曜日になったという流れです。

べっ、別に冒頭のネタが書きたくて、狙ったわけじゃないからねっ！

え？

落ちて悔しいかって？

いやあー、やっぱりイラスト付きで出版したいから、挿絵の入らない一般文芸の賞に落ちて、正直言ってホッとしてる感じかなあー。

……………。

それなら送るな、って話ですよ。

はい、本当は1次落ちして悔しいです。

あと今日は、MFJや講談社ラノベでも、通過発表があったようで。

1次通過された方々は、おめでとうございます！

落選してしまった方々も、めげずに次へ行きましょう！

落ちてしまったのは、きっと作品のせいではなく、13日の金曜日が悪いんです。

まあそれは冗談ですが、次はこんな結果にならないと信じ、希望を持ちながら頑張ろうと思います。

事前にHPで告知があった通り、集英社ライトノベル新人賞の、詳しい応募要項が発表されました。

というわけで、早速チェック。

ザッと確認したところ、基本的には、SDと一緒にようです。

変わったのは、以下の4点かな？

- ・賞金アップ
- ・締切りが年2回
- ・ウェブ投稿が可能に
- ・最終候補作は電子書籍で出版

ウェブ投稿の詳細ページは、まだオープンしていないようですが、評価シートの扱いはどうなるのでしょうか？

ウェブの場合はメールで送ってくれるのか、あるいはヒーロー文庫のように、「選評が欲しい人は紙原稿と一緒に封筒を郵送してね」なのか。

同じ集英社のコバルトがメールなので、たぶん前者だとは思いますが、詳しい続報が待たれるところです。

あと新情報は、「最終候補作は電子出版」って部分ですね。

まあでも、作家を目指している身としては、最終で落ちて電子書籍になるよりは、やっぱり紙の本が書店に並んで欲しい気はしますが……（とらたぬ）

この大幅リニューアルの影響で、応募数がどうなるのか予想が付きませんが、とりあえずウェブ投稿の続報を待とうと思います。

ツイッターで創作バトンをいただきました。

面白そうなので、この場所を使って、回答してみたいと思います。

【1. いつもどうやってアイデアを出していますか？】

まず最初に書きたいキャラがいて、そのキャラの生い立ちを考えながら、ストーリーを膨らませていきます。

キャラありきななので、ストーリーが先だった経験は、今まで一度もないです。

【2. アイデアが出やすい場所は？オススメがあったら教えて下さい！】

バスの中、電車の中、街を歩いている最中。

いいネタを思いつく瞬間は、移動中が圧倒的に多いです。

【3. 作品を仕上げるのにどのくらいかかりますか？】

基本的に3週間ですが、それだと内容がスカスカなので、最近はもっと時間をかけるようにしています。

【4. 今までで一番嬉しかった感想は？】

キャラクター名をあげて、「〇〇が好き！」と言ってもらえるのが、やっぱり一番嬉しいかなあ。

【5. 尊敬する人は？】

ダン・ブラウン。

【6. 目標とかありますか？】

本を出すこと。

【7. 書きたいジャンルは？】

読むのは好きだけど自分が書けないという意味では、ミステリー。

【8. 回してくれた人の作品どう思う？】

キャラの差別がないというか、登場キャラ全員に作者の愛情が感じられて、どの作品もさわやかな印象を受けます。

バッドエンドでも読後感がいいですね。

【9. お疲れ様でした♪】

あざーっす！

【10. 最後に回したい絵描きさん&字書きさんをどうぞ】

特に指名しませんが、ご興味のある物書きさん、ぜひ挑戦してみてくださいませー。

テンプレートはこちらです↓↓↓

<http://privatter.net/p/136908>

【一人ぼっちあるある】

「ちょっと用事あるから」と家族へ伝え、いかにも友人と会うような顔をして出掛けるが、実際は一人で映画を見るだけの奴。

というわけで、まどマギの映画（2回目）を見てきました！

しかし……。

大阪ステーションシネマでは、鑑賞特典の、魔女図鑑がもらえなかった……。

うおおおん！

そのうち新特典が出ると思って、2回目見るのがマンしてたのに！

それにしても、話を知った上で見ても、やっぱり圧巻の一言でした。

誰が一番タイプかと言えば、自分はマミさん派なのですが、この映画の内容はほむらちゃんの一人勝ちですよええ。

かわいくて、格好よくて、そして恐ろしい！

劇場で2回見たおかげで、細かいセリフも理解できたし、ブルーレイが出たら予約しようと思います。

そして、今週発売のゲームをプレイするために、PS Vita を買おうか真剣に悩んでいる最中。

サンタさん！

もしこの記事を見ていた場合、PS Vita、どうぞよろしくお願いします！

ま、今年は悪い子だったから、サンタさんは来ないだろうな……。

今やっている原稿が終わったら（白目）、自分へのご褒美に買おうと思います。

アニメでも実写でも、映画のエンドクレジットには、たくさんの人の名前がありますよね。

たいていは数百人規模で、大作になると、千人以上の場合もあります。

それだけ多数の人達が協力して、一つの作品を創り上げるのは、とても素敵なことだと思います。

しかし、ふと考えました。

我々投稿者って、創作過程の全作業を、一人でやっているわけですよね。

企画立案、キャラクター設定、ストーリー原案、プロットの作成、本文の文章起こし、校正チェック……。

上記の作業、すべて一人。

しかも、誰かに強制されているわけじゃないんですよ。

誰にも要求されず、もちろん賃金も発生せず、ただ自分の夢を叶えるために、一人ぼっちで何年間も戦い続ける。

これって凄まじいことで、相当な忍耐力がないと、できないと思うんですね。

それに気づいたら、ワナビという存在は、神が選んだ聖戦士なんじゃないかと思えてきました。

いや。

それは言い過ぎか。

だけど、小説投稿を何年も続けるって、実はすごいことだと思うので、誇りにするべき能力だと思います！

聖戦士の皆様、こんばんは。
今回はレターパックの裏技を紹介します。

【CD-Rを入れ忘れた】

慎重にフタを開けて、ヨレヨレになった部分を、ガムテープで目隠し。
ガムテープは野暮ったいので、幅広のマスキングテープだと、さらにベター。

【コーヒーのシミがついた】

該当箇所にかわいいシールを貼ってごまかす。

【宛先を書き込んだけど締切りに間に合わなかった】

白いシールに多額の宛先を書き、住所欄に上から貼り付けて使用。
ただし、元の宛先が透けないよう、十分に注意を。

ええ？

どれも実行しましたが何か？

しかし、上記のような方法を使っても、修復不可能な場合もあるでしょう。
あまりにも度を越した失敗は、受取り手にも失礼ですからね。

そういう時は、手数料40円を払えば、郵便局の窓口で交換が可能です。

詳細ページ↓↓↓

<http://www.post.japanpost.jp/fee/simulator/kokunai/charge.html>

あまり知られていないようですが、失敗したレタパは、捨てずに窓口で交換しましょう！

できたー！ - 2013.12.19 Thu

10月頭から書いていた作品が、どうにかこうにか完成しました。

よっしゃー！

計画通り年内に完成したぞー！

しかし最初の完成目標は11月で、それが無理で1か月延長したので、「計画通り」と言っているのは不明ですが（汗）

そして今は、とりあえず終わっただけの段階なので、直すべき箇所はきっとまだまだ多いはず。

なので親しい人々に見てもらって、その間に自分自身も冷静になって、1か月くらい後に見直そうかなーという段取りです。

そして、その次は……。

設定だけ浮かんでいたストックがあるんですが、来年は創作時間が減りそうなので、新作の執筆はしばらくお預けということで。

なので、電撃への投稿は、最大でも3作品かな？

前回の4作品より1本減りますが、2年連続で全滅したらさすがに精神状態がヤバイので、量より質作戦で勝負しようと思います。

まあこういう人間なので、新作を書かなくても、何らかの形で文章は書くし、ブログも続ける予定ですが！

そんなわけで今日は、完成を喜ぶ記事でした。

とりあえず今年の残りは、積み本を消化しようと思います。

かわいい「アイツ」に、中之島で再会しました。



ラバー・ダックちゃんです。

前は中之島の西端でしたが、今回はなにわ筋の近くです。

【参照】前回の記事はコチラ

<http://rakuda-library.seesaa.net/article/377515855.html>

上の写真はABCテレビの、リバーデッキから撮りました。

正面ど真ん前ですね！

ちなみに今回は、大小便小僧はいませんでした……。

残念……。



周辺はこの通りオフィス街ですが、夕方になるとライトアップや、噴水なんかも上がるみたいです。

時間などの詳細は、下記ホームページに。

中之島ウエスト冬ものがたり

<http://nakanoshima-west.jp/fuyu2013main.html>

そんなこんなで、12月もついに下旬。

昨日まで執筆に時間がかかっていたのですが、それもようやく終わったので、これから年末年始の準備をしようと思います！

皆様、お元気でしょうか。

久しぶりに登場の、常木らくだです。

毎日見てくださっている方には、すでにバレバレだと思いますが、ここで改めてお知らせ(?)を。

このブログの更新は、かなり不定期です。

毎晩23時が目安ですが、それより早い時もあるし、遅い時も頻繁にあります。

3日分くらいため込んで、ひょっこり時間ができた時に、一気に出している場合も結構あります。

まるで便秘みたいですね！（例が悪すぎ）

そんなわけで、今もやや遅れていますが、黙ってフェイドアウトはしませんので。

こういう感じのユル〜いブログですが、気長に見守ってくださると嬉しいです。

さてさて。

新作が完成した今も、忙しい日々の連続です。

あらすじ書きと印刷をしたいんですが、なかなかその作業に手をつけられず、とりあえず完全に放置状態一という。

あらすじを書かないで放っておくと、細かい内容を忘れてしまうので、完成後の勢いで書いてしまった方がいいんですけどね。

今はちょっと慌しいですが、年末には時間があると思うので、まとめて取り組むことにします。

というわけで、新年の挨拶にはまだ早いですが、今後どうぞよろしくお願いします！

散らばりがちな、机の上のペン類。

普通のペン立てを使う代わりに、こんな収納はいかがでしょう。

ジャージャーン！



無印で購入したポーチ。

お値段は1800円でした。

参考までに、商品の紹介ページを。

<http://www.muji.net/store/cmdty/detail/4547315000302?searchno=39>

ミニサイズ（1400円）もあります。

<http://www.muji.net/store/cmdty/detail/4547315040704?searchno=23>

商品名は一応バグインバッグなんですが、底が厚くて倒れないので、ペン立て代わりに机に置いて使えます。

ハサミ、カッター、ペン類をまとめて収納。

部屋以外で作業をする時も、これ一つを持ち歩けばOK。

この写真ではわかりにくいですが、5cmくらいの幅があるので、分厚いメモ帳もバッチリ入ります！

ペン立ての代わりに、ポケットの多いポーチを代用。

別に無印良品の宣伝ではありませんが、皆様も試してみたいはいかがでしょう。

イエーイ！

年賀状の作成完了！

去年は年賀状に間違っって自分の小説を印刷という、痛恨のミスを経験しましたが、今年はそんな失敗もなく無事に完成しました。

え？

そんな失敗あり得ない、って？

いやいやー。

原稿のデータが待機状態で残っていたらしく、年賀状をセットした瞬間に、ゴゴゴと吸い込まれていったんですよ（実話）

何というか、あの瞬間は、プリンターに悪意を感じましたね。

「浮かれて年賀状など作っているが、お前はしょせんワナビなんだぜ、わーっはっはっは……！」みたいな。

まあ、それはさておき。

ふと気がつけば、2013年も終わりそうで、今年は色々早かったなあと。

もっとも印象に残った出来事は、まどマギの映画を見たことですが、それ以外にも色々変化があったので、2014年には新しい道が広がりそうな気がします。

果たして皆様の2013年は、どんな一年だったでしょうか。

しっかり結果が残せた方々も、逆に不本意な結果（自分含め）だった方々も、気分を新たに執筆へ取り組んでいきましょう！

「PS Vita 欲しいなあ」という独りごとを言いまくった後、サンタブーツを部屋のドアに掛けて寝たら、半分の金額が入っていて歓喜した今年のクリスマス。

わーい！

サンタさん、ありがとう！

さすがに現物ではなかったけれど、ダメ元の挑戦(?)だったので、半分だけでもすごく嬉しいです。

というわけで、皆様のクリスマスは、いかがでしたか？

自分は色々と用事を済ませて、家族でケーキを食べてという、とても穏やかなクリスマスでした。

ちなみに過去のクリスマスで、一番印象深いのは、2006年のクリスマスです。

当時は北京にいたんですが、身体中に謎のじんましんが出て、病院へ行ったら「水ぼうそうです」という診断結果。

そんなわけで個室へ隔離され、誰とも一言もしゃべらずに過ごした、ロンリーチャイナクリスマス。

まあ、別に水ぼうそうじゃなくても、基本的に引きこもりだし、誰ともしゃべらないんですけどね！

とにかく、これで年賀状も書いて、クリスマスも済んで、残すところは掃除。

自分はひどい怠け者ですが、何故か掃除は大好きなので、張り切って取り組もうと思います。

皆様、こんばんは。

新作の執筆もどうにか完了し、年末モードの常木らくだです。

そうそう。

下読みしてくださる方々に、原稿を送り終わりました。

今回は事前に「下読みするよ」と言ってくださった方々に、個別にお送りしましたが、落ち着いたら第2弾を募集するかもしれません。

ここかツイッターで告知するので、その際はよろしくお願いします！

そもそも自分は、作品を見せることに、とても抵抗があったんですが、見せるにしても、よっぽど信頼している人じゃなきゃ、絶対に無理という。

でもやっぱり、作品のどの部分に注目するかは、読み手によってまったく違うので、たくさんの人の意見を聞くことは勉強になるなぁーと。

それに感想をもらい慣れていないと、選評の言葉を丸々信じ込んでしまうので、もっと免疫をつけたいなぁーと思った次第です。

何しろ選評に振り回されて、2013年の成績は、5年間で最低でしたからね。2014年は、選評に何を書かれても、自分を見失わないようにしたいです。

そういえば、ヒーロー文庫の選評は、いつ来るんだろうなぁ……（遠い目）

最初の締切りが2月だったから、作品を投稿し終わってから、もうすぐ1年が経過するというアレ。

まあでも、返信用の封筒は確かに入れたはずなので、届く日を夢見て待ち続けようと思います。

前回の記事に、作品を人に見てもらうことは勉強になる、と書きました。

自分で気付かなかった欠点を指摘されて、「確かにその通りだ！」と思う場合も多々あります。

それと同じくらい大事だと思うのは、自分でも薄々気付いていた欠点を、改めて指摘してもらえた場合です。

一人の場合

「ここがダメかな？」⇒「まあいっか、このまま送っちゃおう」

作品を読んでもらった場合

「ここがダメかな？」⇒「やっぱりダメだよね、ちゃんと直そう」

になる、というか。

逆に言うと、一人の時に「まあいっか」になっちゃうのは、甘えがある証拠だったんじゃないかと、過去の自分自身を振り返って思ったり。

やっぱり、映画のエンドロールの話じゃないですけど、一人だけで出来る行動には限界がありますもんね。

「下読みするよ」と言ってくれる方がいるのは、本当にありがたいことだと思うし、今後はたくさん周囲の力を借りていきたいと思います。

もちろん、世話になる一方ではなく、お返しもしたいですけど！

とにかく、今年の投稿成績は非常に不本意だったので、今までの悪かったやり方は根本的に変えて、来年は自分で納得のいく結果を出したいと思います。

前からずっと思っていたんですが、投稿者が歩む過程って、横断歩道に似ていると思いませんか？

ただ、普通の横断歩道と決定的に違うのは、青になるタイミングが全員バラバラという点です。

すぐに青が変わって、進んで行く人もいる。

逆にずーっと赤のままで、引き返してしまう人もいる。

自分の場合、もう5年間ほど赤の状態で、しつこく信号を見上げ続けているわけですが。

でもそのおかげで、青になって進んで行く人達の背中を、何度も何度も見送ることができました。

これってたぶん、自分が投稿している中で、一番嬉しい瞬間だと思うんです。

単純に嬉しいのは、やっぱり通過した時ですが、それとは違う種類の喜びというか。

知り合いがデビューするだけでも幸せなのに、「らくだブログのおかげだよ」なんて言われたら、リアルに感動で泣きそうになります（というか泣いた）。

だから、なんて言うのかな。

自分自身の信号は変わらなくても、青になる瞬間に何度も立ち会えるのは、すごく幸せな状況なんじゃないかな、と最近ちょっと考えているというか。

特に今年は、過去一番その回数が多かったので、来年もたくさんの信号が青に変わればいいなあーと思います。

夢への信号が、青になる時。

その瞬間が、2014年に訪れたら、とっても素敵ですよ！

今さらですが、『劇場版・魔法少女まどか☆マギカ（前編・後編）』に収録されている、ブルーレイのオーディオコメンタリーを聞いてみました。

それで、ですね。

ほむら役の斎藤千和さんの発言が、個人的に、ものすごく嬉しいと思ったんです。

どんな内容かというと、「ゲームのシナリオを収録する際、『ほむらはこの状況でこんな発言をしない』と思う箇所があったので、スタッフさんと話し合っただけで変えた」という趣旨のコメントです。

自分が言っても何様ですけど、やっぱり自分はキャラを生み出す側の人間なので、「〇〇はこんな発言をしない」というこだわりが、非常にたくさんあるわけですよ。

だからこそ、納得できない改稿案を書かれたりすると、夜も眠れないくらい本気でものすごく悔しくて。

常々そう感じていたので、声優さんもキャラに対して譲れないこだわりを持っているんだと思うと、たまたまなく親近感が増したというか。

あと、まどか役の悠木碧さんも、「まどかの最終的な選択が、仮に視聴者に受け入れられなくても、自分はまどかの味方でいようと思った」というコメントをされていて、そこでもまた感動の涙。

本編では何度も泣いたけど、まさかオーディオコメンタリーも泣けるとは、恐るべしまどマギ……！

演じてくださる声優さんに、そう思ってもらえたら、作者は本当に幸せですよ。

キャラを都合のいい存在として扱っていないか、ちゃんと一人の人間として扱っているか、自分も我が身を振り返ろうと思いました。

まどマギを見た直後に、自分の小説を読み返すと、面白さがまったく違いすぎて激しく絶望する件。

さらにその後、今年の投稿成績を振り返ると、ソウルジェムが真っ黒になります。

でも、真面目な話をすると。

成績はさておき、今年は間違いなく、過去一番（創作の面で）成長した一年でした。

2013年は本当に、他の投稿者さんと交流したり、創作チャットに参加したり、初めての出来事がたくさんあって。

あと嬉しいことに、このブログの読者様も、去年より圧倒的に増えました。

そういう状況なので、結果こそ出せなかったけれど、非常に有意義な一年だったように感じています。

だからこそ、「これだけ充実しているのに結果が出ないのは、高くジャンプする前の沈み込む期間なのかな？」とか考えたり。

そんなことを言っておいて、来年の成績がさらに沈んだら、とんだ笑い話ですけどね！

でも、今の自分の状況を考えると、それは絶対にはないと思います。

まあ、アレですね。

自分の投稿人生は、幸せの連続でした。

織田信成選手のマネ（↑）ですが、あのコメントには、マジで泣きそうになりました。

最近、歳のせいなのか、めっきり涙腺が弱くなっております。

とにかく前々回も言いましたが、2014年には、信号の色を青に変えたいです！

突然ですが、「らくだ図書館スペシャル」、「らくだの【B級】旅行ガイド」、「小説投稿歴」の公開を取り下げました。

削除の理由は、ここ数か月で投稿に対する考え方が大きく変わり、記事の内容が今の自分の気持ちとは異なるものになったからです。

今まで閲覧してくださった皆様、本当にありがとうございました。

公開前は不安でしたが、想像以上にあたたかく受け入れてもらえて、とても幸せでした。

それに伴い、投稿歴も消去しました。

今までの自分は悪い意味で調子に乗っていたので、過去の通過歴は全部なかったことにして、ゼロの状態から再スタートしようと思います。

それから、余談ですが。

パプーのアカウントを消そうと思ったら、退会のページに泣ける絵本が表示されて、削除を踏みとどまったという。

「最初は恥ずかしかったけど、ドキドキワクワクして、本を書くの楽しかったよ。今まで本当にありがとう」みたいな。(かわいいイラスト入り)

あれは卑怯や……。

退会を迷っている時に、あれを見たら、削除できませんって……。

なので、パプーの過去ログは残します！（人情に弱いタイプ）

そんなこんなで、今までの活動を部分的にリセットしましたが、ブログや小説投稿はこれからも続けますので、2014年も皆様どうぞよろしくお願いします。

今夜は大晦日だから、自分へのご褒美だ！
ポテトチップス大量に食べて、ビールも大量に飲んでやる！

と思ったけれど、普段から割とそうなので、あまり特別感はなかったというオチ。

さてさて。
2013年最後の夜ですが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

自分の場合は……。
今年を振り返ると、何度も書いている通り、1次落選の連続だったなあ……。

でも去年までと違うのは、悪い結果にも自分で納得できて、どれも教訓に変えられたので、たくさん落ちた割には気持ちは前向きかな、という。

少なくとも、イヤな気分のまま残っている落選はないので、そういう状態で来年を迎えられるのは嬉しいことです。

色々公開をやめた件も、マイナス感情ではなく、むしろプラス感情で消したので。

一つの目標を手放したら、あいた手で、新しい目標がつかめる。
一つのドアを閉じたら、風向きが変わって、新しい別のドアが開く。

自分の心に今あるのは、そんな期待に満ちた、明るい願望でしょうか。

コホン。
それでは、最後になりましたが。

今年はたくさんの訪問、ありがとうございました。
どうぞ皆様、よいお年をお迎えください。